

授業科目名		造形表現Ⅱ(指導法)		科目コード	KOIC 0016
学科・コース名		こども未来科		履修区分	必修
授業形態	演習	開講学年	1年次	学期	前期
担当教員	泰田久史	実務経験	有	単位数	1 単位
授業の目的・目標		・幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園に示された、領域「表現」のねらい及び内容の理解を深める。 ・子どもの発達段階を理解し、子どもが楽しみながら、自ら表現できる指導法や対応スキルを身につける。			
授業の概要		・これまでの経験を活かし実践的な授業を行うことで、幼児教育現場で活用されている基礎的な美術表現技法を習得する。 ・実際に様々な表現方法を楽しみながら学ぶ中で、子どもの発達に即した保育を構想、計画することができるようになる。			
回	授業計画・内容			授業外学習の内容	授業外学習時間
1	領域「表現」ねらい及び内容の理解			領域「表現」ねらい及び内容予習・復習	120分
2	領域「表現」のねらい及び内容 発達に即した指導上の留意点の理解			領域「表現」ねらい及び内容予習・復習	120分
3	幼児の発達段階を視野に入れた領域「表現」における保育の構想			教科書関連ページの予習、復習	120分
4	具体的な保育を想定した指導案内容と作成の理解			教科書関連ページの予習、復習	120分
5	幼稚園教育要領における評価の理解			教科書関連ページの予習、復習	120分
6	保育実践における評価反省と保育を改善するための視点			教科書関連ページの予習、復習	120分
7	小学校教育との円滑な接続の理解			教科書関連ページの予習、復習	120分
8	作品制作について、保育現場での教材の活用法			授業の振り返り・課題の予習	120分
9	課題作品制作			課題作品制作	120分
10	課題作品制作			課題作品制作	120分
11	課題作品制作			課題作品制作	120分
12	課題作品制作			課題作品制作	120分
13	課題作品制作			課題発表準備	120分
14	作品発表・鑑賞			課題発表準備・課題提出・まとめ	60分
15	まとめ・感想レポート			全授業の整理とまとめを行う	180分
評価方法		授業の理解度は、授業における発言を含む授業態度と作品制作等で評価 ・作品制作、提出状況 70% ・作品の鑑賞の表現（感想文含む）30%			
教科書参考書		造形表現(指導法) 通信教育部 近畿大学九州短期大学 図画工作 通信教育部 近畿大学九州短期大学 幼児教育の研究 保育内容「造形表現」(株)萌文書林2016			